



医務室 便り

「結核」

東洋大学 保健管理室/医務室
2019年 秋号



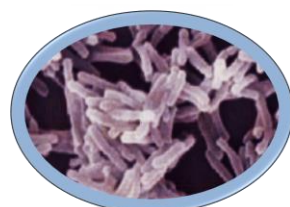
「結核予防週間 9月24日～30日」

50年前までは死亡原因の1位であった結核も、現在では医療や生活水準の向上により適切な治療を受ければ完治できる時代になりました。

しかし、今でも1日に50人の新しい患者が発生し5人が命を落としている**日本の重大な感染症**です。

また、国際化の進展により海外との交流機会が拡大しており、結核の多い地域から来日した人が発病することもあります。

このため、結核は人ごとではなく、感染には注意しなければなりません。



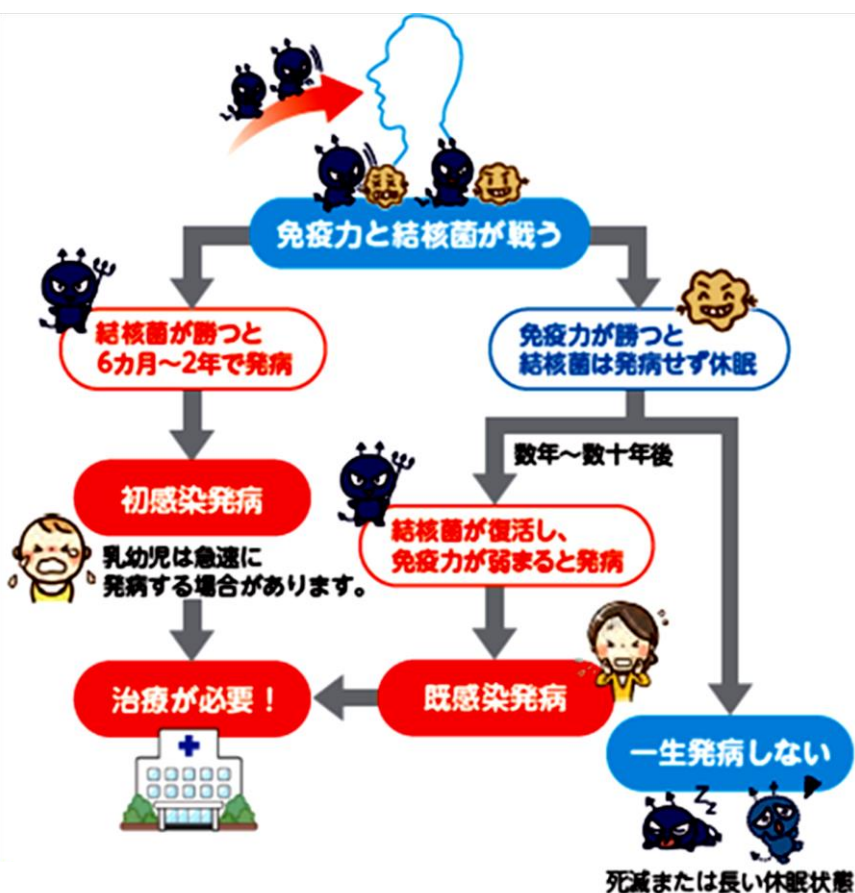
結核菌の電子顕微鏡写真



結核とは??

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。進行すると全身へ感染が広がることがあります。

どのように感染するの？



咳やくしゃみと一緒に、結核菌の混ざったしぶきが空気中に飛び散りそれを吸い込む事で「空気感染」します。

結核菌を吸い込んでも、必ず「発病」するわけではありません。ほとんどの場合、体の免疫力により結核菌の増殖が抑えられ休眠状態になります。

そのまま発病しない事や一度は感染しても、免疫力により結核菌が死滅する事が大半です。しかし、体の免疫力が弱まっている場合は、半年～2年程度の時間を掛けて増殖し発病します。

症状について

初期の症状は風邪と似ています。咳・痰・発熱（微熱）などの症状が長く続きます。体重が減る・食欲がない・寝汗をかくなどの症状がでることもあります。

診断検査について



症状や状況に合わせて、以下のような検査をします。

- レントゲン検査
- CTスキャン
- ツベルクリン反応検査
- 血液検査
- 喀痰(かくたん)検査

治療について

3～4種類の薬剤を6ヵ月程度服用します（病状や経過により長引くことあり）。

発病し結核菌を排菌している場合は、入院治療をします。

症状が消えたからといって薬をやめてしまうと、完全に治りきらず菌が抵抗力をつけ薬が効かない耐性菌になることがあります。

医師の指示通り最後まで治療をすることが大切です。



予防について

健康的な生活が予防につながります

早期発見が重要ポイント！

結核は、風邪に似た症状ではっきりしないことも多い疾患です。下記にあてはまる場合は、医師へ相談しましょう。

- ☑ 痰のからむ咳が2週間以上続いているとき
- ☑ 微熱・身体のだるさが2週間以上続いているとき

早期発見は自分のためだけではなく、大切な家族や友人などへの感染を防ぐことができます。年に一度のレントゲン撮影も早期発見にとっても有効です。必ず定期健康診断を受けましょう！